

没後60年矢野橋村展関連企画（主催：枚方市立御殿山生涯学習美術センター）

マナビスト講座：もっと知りたい枚方ゆかりの美術家たち
講演「近藤尺天と浪華の文人たち」

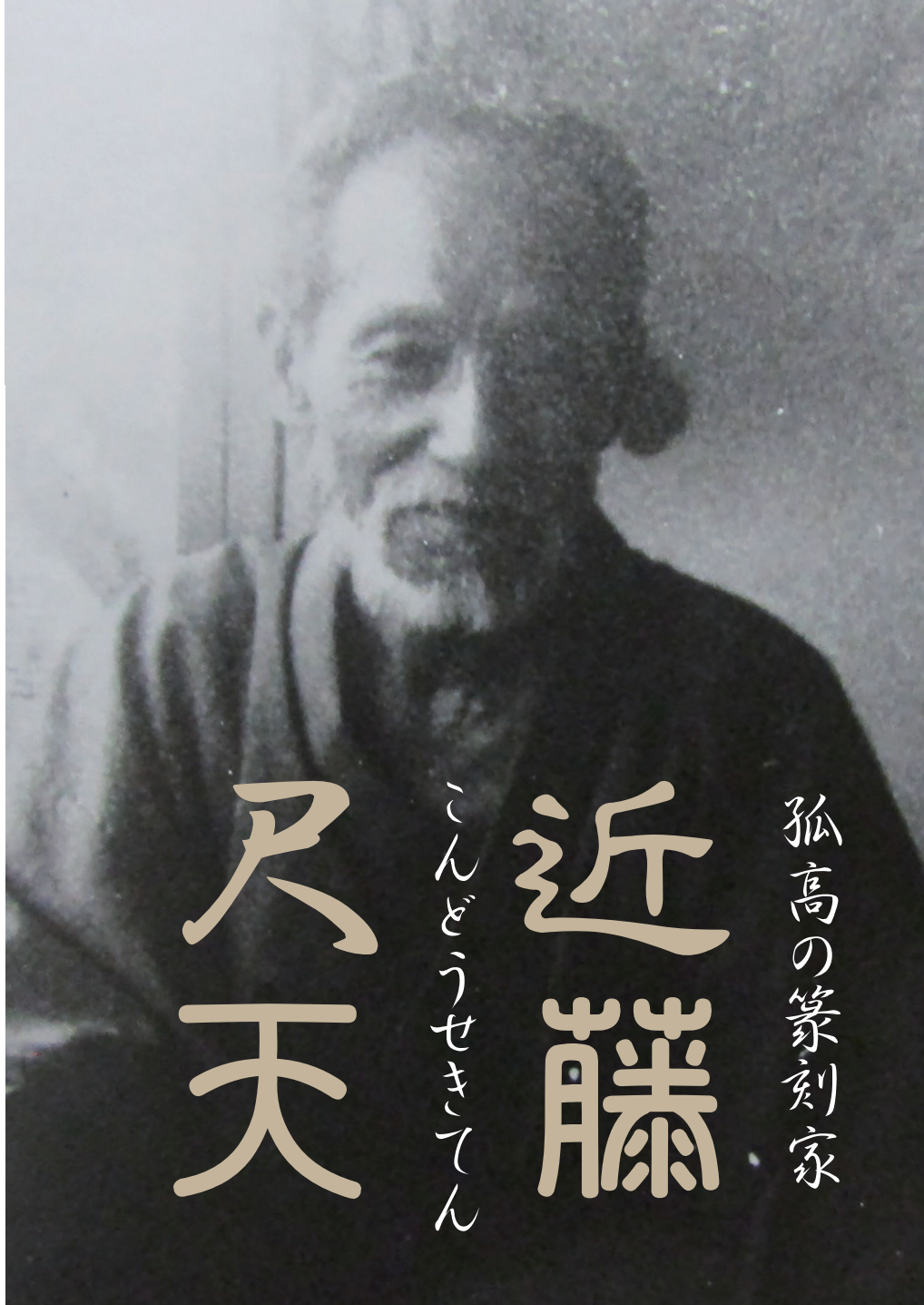
孤高の篆刻家

近藤

こんどうせきてん

尺天

近藤尺天（枚方市蔵）



出展：尾崎蒼石「篆刻家の足跡 近藤尺天」
（『金石書学』第十二号、藝文書院、2007）

知られざる枚方の偉人・篆刻家近藤尺天

近藤尺天（一八五七・一九四四）は香川県の丸亀に生まれ、幼少のころより漢籍に親しみました。明治十八（一八八五）年、二十九歳の時に大阪に出、当時大阪文壇の中心的存在だった近藤南州、藤沢南岳らと交流し、漢詩結社「逍遙遊社」に参画します。

尺天と大阪美術学校との関わりは、大正十三（一九二四）年の学校設立時に、校長の矢野橋村が尺天を名誉顧問として迎えたことに始まります。南画家にとつて漢詩や書の素養は欠かせません。同校では学生たちに漢詩文を講義しています。尺天の門人には矢野橋村のほかにも日本画家の生田花朝女、菅楯彦などがいます。

本講座では近藤尺天の篆刻・書の特徴や、尺天との関わりの深い文人たちについてわかりやすく解説します。
没後六十年矢野橋村展も併せてご観覧ください。近藤尺天の書と印章も展示しています。

日時：令和7年5月18日（日）

13時～14時30分

会場：御殿山生涯学習美術センター

2階ホール

申込：令和7年5月3日10時～

電話または窓口、無料

講師：真鍋井蛙先生

せいあ

（日本篆刻家協会理事長）

【講師略歴】

一九五五年香川県生まれ。篆刻家・書家。大阪府立三国丘高等学校教諭のほか、奈良教育大学、園田学園女子大学等で非常勤講師を務めた。二〇一八年改組新第五回日展特選受賞、二〇二〇年堺市文化功績受賞（芸術文化）、二〇二二年新第八回日展特選受賞等。著書に『はじめての篆刻入門』（淡交社）、『ウルトラかんたん篆刻』（芸術新聞社）ほか多数。

↓詳細はこちら



【申込・お問合せ】

TEL：050-7102-3135

枚方市立御殿山生涯学習美術センター
大阪府枚方市御殿山町 10-16